

# NEWS LETTER KUMAMOTO

March 2011 vol. 88

■ Publisher : Kumamoto International Foundation 4-8Hanabata-cho, Kumamoto City, 860-0806, Japan  
Tel : 096-359-2121 e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp URL : http://www.kumamoto-if.or.jp/  
■ 発行 : (財)熊本市国際交流振興事業団 〒860-0806 熊本市花畑町 4-8  
Tel : 096-359-2121 e-mail : pj-info@kumamoto-if.or.jp URL : http://www.kumamoto-if.or.jp/



## 多文化共生月間 in くまもと ～多文化共生社会の構築を目指して～

熊本市国際交流振興事業団では、毎年2月を多文化共生月間に位置付けて、多文化共生について理解するためのイベントを開催しています。多文化共生とは、日本人市民と在外国人がお互いの文化を理解しながら、互いを認め、助け合いながら地域住民として生活していくことを言います。現在熊本市には、4,000人以上の外国の方が生活されています。最近では、国際結婚、留学など様々な目的で在住されています。そして、この傾向はこの後も増え続けると考えられます。そこで、当事業団では、多文化共生社会構築のためにみんなが共に生活できる社会の実現を目指します。

今回のニュースレターでは、多文化共生月間の催しをレポートします。

### 外国人の書道展

2月1日(火)から28日(月)まで、国際交流会館 2階交流ラウンジで、1月に開催した「外国人の方々による書き初め体験」での作品を展示しました。

お手本の「愛」「幸」「海」「旅」などから好きな字を選んでの書道体験でしたが、やさしい字ではなく、漢字の意味を聞きながら難しい「英雄」「龍」等の文字に挑戦した方も多くおられました。展示は、ボランティアの方々を中心に準備を進められる中、在住外国人との交流、お互いの文化を理解し合う機会となりました。



### 多文化共生シンポジウム in くまもと

～外から見た熊本は!?～

2月20日(土)熊本県立大学中ホールで、熊本県立大学との共催で、多文化共生シンポジウムを開催しました。シンポジウムは3部形式で行われ、まず、第一部は、当事業団と県立大学文学部日本語日本文学科の皆さんが協同で実施しています多文化共生社会を考える「多文化共生クラスター」学習会について本年度の報告が行われました。(クラスターとは葡萄の房を意味し、房がどんどん増えていくように多文化共生社会を一つ一つ学習し、豊かな社会づくりを目指すというものです。)今年度は、地域日本語教室の状況や入国管理システム(出入国管理法の改正に伴い、他国の外国人施策のあり方と日本の管理法を比較しました。)、県外の在住外国人の状況、国外の状況などを学習しました。

第2部では、新潟県長岡市国際交流センター「地球広場」のセンター長羽賀友信さんに「外から見た熊本・九州」というテーマで基調講演をいただきました。ここ数年、熊本への訪問を重ねる中、長岡市で広報され、知っていた「熊本の姿」と実際に熊本に来て見て、知った「熊本の姿」に大きな違いがあることをお話されました。熊本には、熊本城など多くの文化遺産が現存し、素晴らしい発見があったとのことで、外に対して十分に情報が発信されていないようです。これは、地元にとっては、素晴らしい文化遺産が日常化し、当たり前のことになっていることが一つの理由としてあげられるでしょう。地域の遺産 ～ 素晴らしい発見し、活用するためには、グローバルな視点で、その地域をマクロ的に見る必要があります。そして、地元の人たちが、その地域の素晴らしさに気づき、地域についてプレゼンテーション出来る力がこれから必要になってきます。そのため「外からの視点」を取り入れることが必要であり、そこで活用できるのが、在住外国人の目線から見た熊本です。国際交流会館では、「多文化共生写真展・Smileプロジェクト」(2月27日終了)が開催されていますが、ここでの熊本の高校生が外国人へ「熊本の好きなおとこ」などについてインタビューし、パネルを作って展示していますが、まさに、このような視点が必要です。熊本に住む外国人を地域社会のパートナーとして「外から見た九州・熊本」の視点を取り入れながら、新しい熊本を発見・発信する必要があります、とお話しをされました。

### 世界の動きを知るセミナー

～多宗教という観点から～

2月5日(土)国際交流会館で、宗教という観点から多文化社会を考える本セミナーを、熊本イスラミックセンターと共催しました。(参加者70名)キリスト教、イスラム教、仏教のそれぞれの関係者が、各宗教のコアとなる考え方、他宗教との関わり等を発表、その後、参加者との対話セッションを行いました。宗教が文化として世界史に大きな影響を及ぼしたこと、各宗教共通の「愛」「平和」「正義」という教えは、私たちの暮らしの中で平穏に結びついていることを再認識できました。

9.11以降、イスラム教に対し「テロリスト」という偏見が存在しています。しかしながら、実際には、「慈悲」を大切にしている宗教であり、偏見を持つことなく、お互いの宗教・文化的な違いを認め合うことで、私たちの社会は豊かになっていくことを学ぶ機会となりました。



## CONTENTS

多文化共生月間 in くまもと	1
外国人の書道展	2
多文化共生シンポジウム in くまもと	3
世界の動きを知るセミナー	4
未来の熊本	5
事業団だより	6
国際交流振興	7
国際交流振興	8

第3部では、基調講演者の羽賀さんをコーディネーターに、在住外国人のロベルト フェラーリさん(イタリア出身・英語講師)とムハammad ワヌースさん(シリア出身・留学生)の2名と当事業団の職員であり多文化共生マネージャーである上田真実によるパネルディスカッション～地域の財産～を行いました。

羽賀さんの方から、「イタリアとシリアという国がどこにあるか知っていますか?」と、会場に問いかけられましたが、イタリアはほとんどの方が知っていたのに対し、シリアは殆どの方が知りませんでした。日本では、シリアと聞いても中東のあたりというイメージまでで、その詳細を知っている方は少ないのが現状でしょう。今日、学んでほしいこと、このようにいろんな人が熊本にいて、彼らと知り合い、彼らの国のことを学ぶことで日本のこと、熊本のことが良く見えてくる、ということです。パネラーの方々とお話しを通して、違う視点が自己、地元を知ること、如何にプラスになるかというテーマが取り上げられました。



まず、身近な例として、言葉を上げられました。ムハammadさんから、日本語でいう「あんた」は、アラビア語でも同じ発音、同じ意味で使われていることをお話しいただきました。特に驚いたのは、「もしもし」はシリアでは「杏の色」のことで、日本に来た時みんながもしもし、もしもしと発音しているのを良く耳にしたことだったそうです。

上田からは、日本語は日本語という固定観念があったが、外国語に同じ発音で同じ意味の言葉があったり、意味は違うが同じ発音の言葉があったり、と世界での言葉のつながりを指摘され、また、イスラム教=中東の方の宗教、仏教徒はアジアに多く、キリスト教は欧米、という先入観が多いように思うと話されました。(実際には、多くのイスラム教徒はインドネシア、マレーシア等アジアに在住されています。)

羽賀さんとムハammadさんの話の中で、「ムハammad」という名前はイスラム教徒だけでなく、キリスト教徒にもいるということが出てきたとすることで、対話の重要性が見えてきました。

日本についてのイメージに関する質問で、ムハammadさんからは、シリア人は日本が大好きで尊敬もしている。それは第二次世界大戦後の日本の高度経済成長が一つの原因で、資源のない国がこんなに成長したことは、すばらしい、奇跡であり、畏敬の念を持っているそうです。高い技術があり、平和だということもあるそうですが、一方、日本はアメリカの同盟国であり英語がみんな話せると思っていたが、想像以上にできなかったのは驚きだったとも話されました。

ロベルトさんからは、イタリアから見ると日本は遠く、日本、中国の区別がつかないこともあり、アジアの中の一國という感じだったそうです。また、イタリアは「個」を尊重するが、日本は、「集団」という考え方があり、違いを感じたそうです。3人いれば3つの意見がでてきてまとまらないイタリア人に対し、同じ答えや相手の意見を期待し、意見が出てこない日本人について話しされました。それぞれに良いところがありますが、日本は和を大切に、一致団結して頑張ろうという面があります。

さらに、日本では、コミュニケーションの中で「わかりません」と発言することがあるが、世界的にみると誤解されることが多い。「今はわからないので、後で調べます」という答えが必要であるとも話されました。

最後にお二人から、熊本のよいところは、水、熊本城などたく

さんある。それをもっと外国人に知らせてほしい。そして熊本の人がとても好きだとも話されました。人と人が直接繋がることのすばらしさ、そしていろんな可能性がそこにはあるという話でパネルディスカッションを終わりました。地域の財産は人!なのです。

私たちはこれからも人と人が繋がるお手伝いを実践していきたいと思います。

## 多文化共生写真展 ～Simileプロジェクト～ Talk+熊本=SMILE

2月6日(日)から27日(日)までの約1ヶ月間国際交流会館1Fエントランスホールにおいて多文化共生写真展 Smileプロジェクト～Talk+熊本=SMILE～を開催しました。

多様な文化背景を持つ在住外国人の方々がたくさん熊本に在住しています。彼らにとって、熊本の良いところ、好きなところはどこか?また、どのように異文化に溶け込んだのか?を高校生がインタビューし、そのメッセージを笑顔の写真と共に紹介しました。28カ国117名の方に協力していただきました。良いところ、好きなところでは、1位「熊本の人」、2位「熊本城」、3位「阿蘇」、4位「水」という結果になりました。どのように溶け込んだのかでは、人が親切で親しみやすかったのですぐ打ち解けられたということでした。



## 今後の取り組み ～国際協力月間、3月～

今月(3月)は「国際協力月間」としてセミナーやワークショップ、パネル展等で様々な形で国際協力活動への理解を促進していきます。

毎週末(土曜日)は、国際協力機構(JICA)九州国際センターとの共催で、国際赤十字救援要員の体験談セミナー(3/5)、NPOソルト・パヤタス セミナー(3/12)、100人でやる”もしも世界が100人の村だったら!”(3/19)、また関連展示が国際交流会館で開催されます。そして特に3月26日(土)、27日(日)の2日間にわたって「2011 NGO協働SAKURA祭」が開かれます。これは熊本市を中心に活動しているNGO(国際交流・協力団体)の皆さんが日頃の活動を紹介するイベントです。期間中はステージイベントやいろいろな外国の料理を楽しむブースも出されて、見て聞いて味わえる2日間になります。国際交流や国際協力に興味があっても何から始めて良いのか分からない人や海外に興味を持っている人にはお勧めのイベントです。皆様のご来場をお待ちしています。





## さようなら

熊本市国際交流員(中国) 李 墨竹(リ モージュ)さん

あっという間に一年間が経ちました。初めて熊本の土地を踏んだ時の感動は今でも昨日のように思い出されます。2010年4月16日、東京からの国内線で午後1時過ぎ熊本空港に着きました。10年間近くを中国の深圳(しんせん)市で生活し、東京で3日間の研修を受けて、大都市での生活を送ってきた私でしたが、飛行機が熊本の上空に差し掛かった瞬間、心が和み、ホッとしました。空港から車に乗って国際交流会館への移動中、目に入って来たのはきれいな道路、盛んに咲いているハナミズキ、道の両側に並ぶ可愛い三角屋根の家々、ドアに鈴が飾ってある店、中国と違って童話の世界のようなこの町を、いきなり好きになりました。

熊本に住んで、まもなく1年になります。振り返ってみると忙しいながらも楽しい毎日でした。市役所での日常業務、交流活動、あるいは学校訪問、いずれも中国と日本との「懸け橋」としての使命を心がけて努力してきました。

5000年とも言われる文明史と悠久の歴史を有し、四大文明の一つと言われている中国は絢爛な文化を創りだしてきました。そして、2000年ほど前から両国間での渡航が始まり、それは現代に生きる私たちには想像を絶するような困難の連続でした。荒れ狂う波に耐え抜いた先人たちの苦勞により、中日間の長い友好往来

の幕が開かれました。無論、歴史を築いたのはその時代に生きていた一人一人の人間にほかなりません。古代から近代まで、助け合い、深い友情を結びつけた両国は、たくさんの絆によって堅く結ばれています。物質的に満たされ、文化や社会が成熟した今日だからこそ、私たち一人一人の努力があれば、きっとこの伝統的に育まれてきた長い友情が永遠に続いていくと確信しています。

私は、4月から大学院生として熊本学園大学(福祉環境学部・生活環境学専攻)に入学する予定です。これから、留学生として生活を送る中で、これまでの国際交流員としての経験を生かして、日中交流に関する仕事を続けたいと思います。熊本の魅力を多くの中国人に伝え、体験してもらおうと共に、中国の経済発展のパワーを熊本でも引き出すことができるよう、中日間の真の友好の為に尽力したいと思います。

最後に、私の好きな言葉で中日の永遠の友好をお祈りします。「以銅為鑒，可正衣冠；以古為鑒，可知興替；以人為鏡，可以明得失。」

(銅を鏡にし、衣冠を正す。歴史を鏡にし、未来が分かる。人を鏡にし、誤りが分かる。)

一年間お世話になりました。そして、これからもよろしくお祈りします。



職場でのチャイナドレス姿



学校訪問

くまもとと一緒に



## ◆インターナショナルサロン◆

気軽に国際交流が楽しめると大好評のインターナショナルサロン。3月、4月の予定は下記のとおりです。お申し込みは毎月1日から。1日が土日祝日と重なった場合は、翌平日からの受付となります。お早めにご予約下さい。参加費は各300円です。

定員：各18名

場所：熊本市国際交流会館2F ミーティングルーム

時間：(1)～(6)(10) 14:00～15:00、18:30～19:30  
(7)～(8) 14:00～15:00  
(9) 18:30～19:30

※これまでアメリカ、ドイツ、中国について、それぞれ日本語で行ってきたアメリカサロン、ドイツサロン、中国サロンは新年度から内容が新しくなります。世界各国の文化風習や国内外のタイムリーな話題について、複数の外国人と意見交流ができる、まさにインターナショナルなサロンとなります。より国際的、より多角的な意見の交換がお楽しみいただけます。

毎月第4木曜日 午後2時～3時、午後6時半～7時半

(1)アメリカサロン	3月10日(木)	※
(2)ドイツサロン	3月17日(木)	※
(3)中国サロン	3月24日(木)	※
(4)英語サロン	3月 8日(火)、4月12日(火)	
(5)ドイツ語サロン	3月15日(火)、4月19日(火)	
(6)中国語サロン	3月22日(火)、4月26日(火)	
(7)中国語を学ぼうサロン	3月18日(金)、4月15日(金)	
(8)韓国語を学ぼうサロン	3月25日(金)、4月22日(金)	
(9)フランス語サロン	3月18日(金)、4月15日(金)	
(10)インターナショナルサロン※	4月28日(木)	

## ◆つきいち世界を知ろう!◆

小中学生を対象に、月一回世界中のおもしろい習慣や風習を体験したり、歴史について学びながらもっと世界を身近に感じてもらうイベントです。参加無料!

◆3月のテーマは

### “中国の「油条」作り”

中国北方で朝食に食べられる「油条(ヨウティアオ)」を作って、豆乳と一緒に食べます。健康的な中国の朝食を体験してみませんか?

講師：李 墨竹さん、ベンジャミン・グリフィンさん、  
フローリアン・アクストさん

日時：3月21日(月) 10:00～11:30

場所：熊本市国際交流会館4F 第3会議室

定員：30名

参加方法：3月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

◆4月のテーマは

### “英語を使ったアメリカのゲーム”

講師：ベンジャミン・グリフィンさん、  
フローリアン・アクストさん

日時：4月17日(日) 10:00～11:30

場所：熊本市国際交流会館4F 第2会議室

定員：30名

参加方法：4月1日(金) 9:00から申し込み受付開始

## ◆こども「ものづくり」教室◆

毎月1回、「ものづくり」を通して、子ども達の無限の創造力を引き出し、豊かな心を育てます。一つのものをつくるという活動を通して文化、習慣の違う在住外国の方々とふれあい、交流を深めます。熊本ものづくり塾と共同開催です。参加無料!

3月の作品

### 「段ボールの兜(カブト)づくり」

日時：3月26日(土) 10:00～12:00

場所：熊本市国際交流会館B2F 多目的ルーム

定員：30名(先着順)

対象：小中学生とその家族

申し込み：3月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

## ◆世界の現状を知ろう◆

毎月、私たちにあまり馴染みのない国の文化、人々の生活などを紹介するサロンです。いろんな国の新たな発見をしてみませんか。

3月 ～タンザニア連合共和国～

日時：3月26日(土) 14:00～15:00

場所：熊本市国際交流会館2F ミーティングルーム

定員：18名

対象：どなたでも

参加費：無料

参加方法：3月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

4月 ～ベナン(予定)～

日時：4月23日(土) 14:00～15:00

場所：熊本市国際交流会館2F ミーティングルーム

定員：18名

対象：どなたでも

参加費：無料

参加方法：4月1日(金) 9:00から申し込み受付開始

## ◆東アジアをもっと身近に「毎月楽しもう“アジア”の食&文化!」◆

ますます東アジアとの友好促進が求められる中、在熊のアジア出身の方々に講師にお招きし、その国の文化風習に関する紹介と、楽しい料理づくり体験を通して、異文化理解と、交流を図るイベントを、毎月1回(第4日曜日)開催いたします。

3月はマレーシア

日時：3月27日(日) 11:00-13:30

場所：熊本市国際交流会館

定員：20名

内容：①ミニセミナー「マレーシアの文化風習」

②料理づくり

参加費：300円(食材費として)

申込み：3月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

## 留学セミナー

### ◆～海外で学んで人生のスキルアップ!～◆

海外で外国語や知識を学んでこれからのあなたの人生のレベルアップを図っていませんか?外国で生活することにより勉強だけでなく貴重な経験を積むことができますよ。

日時：3月21日(月) 14:00～15:30

定員：30名(先着順)

対象：どなたでも

参加費：無料

場所：熊本市国際交流会館4F 第3会議室

申込み：3月1日(火) 9:00から申し込み受付開始

## ◆春休み子ども英語クラブ◆

英語教育の低年齢化が進もうとしている中で、学校の授業ではできない英語体験ができるプログラムを実施します。ゲームや歌を通して楽しく自由に、生きた英語に触れてみませんか？

日 時：3月25日、29日、4月1日、4日  
全4回 10:00～10:50  
(小学1～3年生の児童)  
11:00～11:50  
(小学4～6年生の児童)

場 所：熊本市国際交流会館B2F 多目的ルーム

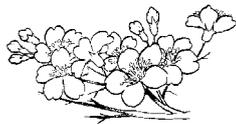
対 象：小学生

定 員：各20名

参加費：1,000円

参加方法：3月1日(火)

9:00から申し込み受付開始



## 3月～国際協力月間～

## 2011国際交流・協力団体(NGO)協働

## ◆“SAKURA”祭◆

今年も国際交流・協力団体(NGO)が集結して“SAKURA”祭を開催します。熊本を拠点に活動している国際交流・国際協力(NGO/NPO)など民間団体をもっと多くの方に知ってもらい、活動に参加していただけるようイベント等を実施します。今年のテーマは、「聞いてみよう、世界の声!」です。

日 時：3月26日(土)・27日(日) 10:00～17:00

会 場：熊本市国際交流会館

内 容：国際交流・国際協力(NGO/NPO)団体の紹介、世界のグルメ、パザー、コンサート、ものづくりワークショップ、など



## 国際掲示板

## ◆上通YMCA日本語教師養成講座説明会◆

開催目的及び内容：

「日本語ってどうやって教えるの?」というテーマで日本語ボランティアや教師志望の方を対象に、講座説明会を実施します。日本語の実際の授業を、学習者になったつもりで体験することができます。その他当講座の授業内容、修了生の体験記をご紹介します。

日 時：2011年3月6日(日) 15:00～16:30

場 所：上通YMCA

対 象：どなたでも。事前にお電話でご予約ください。

参加費：無料

問い合わせ先：0120-084-885

## ◆KLCC「救命から看取りまで」(田上医師講演会)◆

開催目的及び内容：

今春をもって東京医科大教授就任のため熊本を去られる田上医師の、これまでの医療活動～麻酔科医、ペインクリニック、ホスピス担当～をお話ししていただけます。

日 時：2011年3月19日(土)

場 所：ウエルバル熊本1F 会議・セミナー室

対 象：どなたでも

参加費：無料

問い合わせ先：090-2968-4971

(地雷廃絶と被害者支援の会・熊本)

## ◆地球緑化の会「第2回吉無田エコ・ウォークラリー」◆

開催目的及び内容：

集合場所から、植林予定地までの約1.2kmを走りながら、途中及び最終地点に設営されたポイントで、ゲームをしてウォークラリーを楽しみ、昼食の後に記念植林と賞品プレゼント会を行います。植林は1人3本程度の軽作業となります。

日 時：2011年3月27日(日)

場 所：上益城郡山都町吉無田高原 吉無田水源駐車場

対 象：小学生以上

参加費：大人1,000円、子ども(中学生以下)500円

※弁当、ジュース、保険代

問い合わせ先：096-369-9100(地球緑化の会)

## ◆国際ソロプチミスト認証25周年記念第10回チャリティ茶会◆

開催目的及び内容：

2009年3月に設立した「夢を生きるライセンス基金」(経済的に困難な状況にある女性の資格取得のための就学基金)への募金のための茶会を開催します。

日 時：2011年3月30日(水) 10:00～14:00

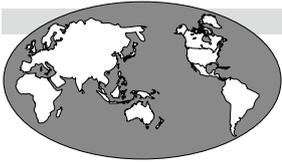
場 所：熊本市国際交流会館 5階、6階

対 象：どなたでも

参加費：1,200円(茶券代)

問い合わせ先：096-345-2896

(国際ソロプチミスト 熊本～すみれ事務局)



# 世界を知る It knows the world.

このページは世界を知るをテーマに「国際協力」については、独立行政法人国際協力機構（JICA）デスク熊本のご協力を得て、日本で生活する私たちに日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介いたします。

## マダガスカルで暮らして

21年度3次隊 村落開発普及員 **作本 さくもと** **水香 みすか** さん

2010年1月より青年海外協力隊としてマダガスカルで活動をしています。マダガスカルという国の名前は聞いたことがある方も多いかと思いますが、どこに位置していて、どんな国なのか知っている方はそう多くはないと思います。そこでマダガスカルについて少し紹介したいと思います。

### マダガスカルってどこ？

アフリカ大陸の南東（右隣り下）に位置する大きな国です。（面積は日本の約1.6倍）

### マダガスカルってどんな人たち？

元々の先住民はマレーシア、インドネシアなどアジアから渡ってきた人たちだと言われています。後にアフリカ、インドなどから渡ってきた人たちが住み、約19の部族がそれぞれの生活スタイル、儀礼などを保ちながら共存しています。人も文化もアジア、アフリカ、ヨーロッパが交わった独特の雰囲気を出しています。



ファミリアナという先祖供養の儀式。死者を墓から掘り起し、上から布を重ねて包み、また墓に戻すというもの。

### マダガスカルってどんな国？

マダガスカルの人々は日本と同じ米を主食としています。彼らはお茶碗2〜3杯分のご飯を一食でペロリと食べます。米の消費量が世界一と言われるのも納得です。

次に固有の動植物。この地でしか目にすることのできない数多く動植物が生息しています。代表的なもので言えば「キツネザル」。地球上に存在する彼らの大部分がこのマダガスカルに生息していると言われています。また、地上で横飛びするサル「ペロシファカ」などはテレビなどで一度はご覧になった方も多いかと思いますが、その他「カメレオン」なども普通に道を歩いているので、時々踏み潰しそうなことも…

そして忘れてならないのが、「バオバブ」の木。「星の王子さま」でも登場しましたが、不思議な形をしていて、群生しているその場所は、まさに異空間です。

これまで代表的なマダガスカルについて紹介しましたが、次に私の活動地域を紹介したいと思います。私の住んでいる町マンジャカンディアナは首都アンタナナリボから約40kmのところに位置しています。人口は2万人程で、大部分が農業で生計を立てています。マンジャカンディアナは首都と同じく中央高地にあたり、寒暖の

差が激しく、夏（雨季）でも夜は20℃を下回ります。そしてつらいのは、乾季の寒い時期は10℃を下回ります（日本の冬と同じ）が、暖房がないため服を着込み、寝袋の上は何枚も毛布を重ねて寝ます。

そして最後に活動内容ですが、私の配属先は保健局で、ドクターや看護師、町の保健ボランティアたちと一緒に保健衛生の分野で活動しています。

具体的には母子に対する栄養指導。米、いも類などの主食に対して、圧倒的に少ない野菜の量などを、写真を使いながら印象に残るような、そして見てすぐ分かる指導方法を心がけながら啓発活動を行っています。



母親・保護者に栄養指導をしている時の写真

また学校で子どもたち、そして先生たちに手洗いや歯磨き指導。「石鹸を使って手を洗おう」と指導していますが、実際には石鹸1個買うことも難しい家庭の子どもたちもたくさんいるのは事実。その際は従来から行われてきた「灰を使っても、きれいになるよ」という方法を活かし、「手を洗う習慣を身につける」ことを目的に活動しています。

その他日本文化を紹介したり、日本語教室を開いたり、日本で生活していた時とは考えられような変化に富んだ毎日を送っています。

そんな中つたないマダガスカル語で、伝えたいことも伝わらず、そして聞き取れず、イライラしたり、悶々とさせられることもあります。マダガスカルの人々の暮らしを少しでもよくするために私たちボランティアはここで生活していますが、マダガスカルの人々の助けなしには活動できないということ、彼らに日々感謝し、そして自分が楽しむことも忘れずこれからも精一杯活動していきたいと思っています。



学校で手洗い指導を行っている時の様子。子供たちがきれいな手を見せてくれているところ。

## 就職直前！個人レッスンで納得いくまで特訓します。

履歴書の書き方はこれでいいの？何を聞かれるのか面接が不安！直前でも大丈夫。まずは無料カウンセリングへお越し下さい。

### ● 就職対策講座

エアライン・ホテル業界・一般企業 面接対策など

### ● サービス英会話

サービス業界を目指すあなたへ

### ● 魅力アップ講座

立ち居振る舞い・魅力ある話し方・メイクアップなど

### ● 海外留学コーディネーター

留学前と後の就職活動までをトータルコーディネート

**TOEIC** 只今申し込み受付中

2011年6月28日の公開テストに向けた試験対策を。  
4ヶ月講座で大幅スコアアップも夢じゃない！

TEL:096-324-1261 E-mail: info@art-i.jp

Career Design School 『Art-I』  
キャリアデザインスクール アート・アイ



Webサイトはこちら  
<http://art-i.jp>

# 未来のために

ここでは、私たちの未来を考える上でとても重要な視点である共に生きる社会、多文化共生について  
専門家である羽賀友信さんにシリーズでご寄稿いただいています。

## 多文化共生の可能性

地域レベルで多文化共生を見ると、「してあげる」という目線が主流になっているように感じます。一方で、地域が抱える課題も多様化し複雑化してきています。外国籍住民がパートナーとして、地域の重要な主体になれるように政策を進めることは、多様性を新たな視点として捉え、前向きに解決策を導き出すシステムの開発に繋がります。

多文化とは、多様な外国籍市民の文化に特化したことではなく、地域に存在するあらゆる多様性に注目することです。例えば、少子高齢化、過疎化、高齢者、子育て、障害者等の孤立しやすい弱者のことを指すのです。これらの課題を解決するためには、多様な視点をもった人々の協働システムが必要であり、これが広い意味で多文化共生となるのではないのでしょうか。

外国籍市民の立場から言えば、まず情報を得ることが自立に繋がり、さらに協働に繋がります。地域の主体になります。そのため手法がホスト社会を変えるという新しい視点と可能性に繋がっていくのです。

平成24年7月(予定)から、外国籍市民の住民基本台帳登録制度が施行され、転入・転出の手続きが開始されますが、日本人にとっても煩雑な諸手続きであり、外国籍市民が単純に理解できるとは思えません。言葉を単純に翻訳するのではなく、噛み砕いて説明することが大切です。このことは外国人だけでなく、高齢者にも当てはまることです。一例として、わかりやすいチェックフローを作成すること等は、登録者側・説明する側の双方が理解しやすい方法となります。

多言語のみならず、わかりやすい日本語で表記すること

は、内容を深く理解した上で咀嚼する必要があり、専門的行政用語を優先することから、わかりやすい内容説明へと進化させることに繋がってきます。

問題解決の方法についても当事者のみならず、それに関わる人々の多様

な意見を取り込み活かすためには、ファシリテーターの存在が必須であり、今までの対立関係から補完の関係に進化していきます。これが市民参加と協働という概念に繋がり、さらに地域の活性化へと発展していくのです。

特に過疎地の課題に関しては、都市部との連携をファシリテーターが担うことで、地域の付加価値に気づき、新たな「人材」の発掘に繋がります。このような地域には、外国人花嫁の問題も存在していますが、その問題解決にも繋がっていくのです。

今、国際的な人材に求められるものは、アイスブレイキング(雰囲気づくり)、ファシリテーション(意見の引き出し)、プレゼンテーション(伝える力)であり、この人材は国際現場のみならず、地域社会においても多様な問題解決に対応できる能力を有していることです。

地域の国際化とは、外でも中でも活躍できる人材(財)の育成が重要なのです。



筆者:羽賀 友信さん  
長岡市国際交流センター「地球広場」センター長  
新潟NGOネットワーク顧問  
JICA地球ひろば 国際協力サポーター  
長岡市教育委員  
JICA専門家

## あなたの企業も一緒に情報発信しませんか!?

この「ニュースレターくまもと」は、当事業団の機関紙として平成7年11月の創刊以来、熊本の国際交流・協力に関する情報を、日本各地の国際交流協会、国際交流・協力機関や市民、在住外国人の方々を中心に幅広く発信し、国際交流・協元に感心を持つ人、開発教育関係の教育者、留学を考えている人、異文化理解に興味を持つ人など、多くの方々にご愛読いただいています。

\* web でも公開しています。( <http://www.kumamoto-if.or.jp/> )

発行：年6回(奇数月発行)部数：3,000部

配布先：市内の小・中学校、高校、大学、全国の国際交流協会、市内の国際交流・協力団体、当事業団のボランティア登録者及び賛助会員(約500名)、熊本市役所関係機関(市民センター、公民館等)、熊本市国際交流会館内

広告の種類：1/4ページ(この広告募集のサイズです)

契約期間及び料金：単発(1回)20,000円、半年契約(3回)45,000円、年間契約(6回)60,000円

ちよつと日本語 Japanese Tip

ことば以外のこと

NPO法人日本語サポートあさ  
代表 小川 ひろみ さん

いろいろな国から来た学生たちと話していると、「ことばは通じるけど、なんかヘン」と違和感を感じることがあります。

そのひとつが立ち話をする時の話し手と聞き手の距離。「もうちよつと離れてください。」といいながら一步下がると、学生は一步近づいて「先生は私が嫌いですか」と悲しそうな顔。

「そういうわけじゃないんだけど。恋人じゃないし。。。」といつてもわかってもらえません。どうやら日本人はそれほど親しくない人とは話す時に少し距離をとるようで、日本語が上手になるにつれ、学生たちも話すときに相槌やら、相手との距離やら、おじぎをしながら挨拶したりと、ことば以外の言語要素を自然に学んでいくようです。

きぶろ

韓国の五味子茶(オミジャ茶)って

みなさんこんにちは。寒い日はまだまだ続きそうです。風邪も流行っていますが、うがい手洗いをしっかりやって元気に冬越えしたいですね。皆さんは、風邪引いた時は何を飲まれますか？私は家でよくジンジャーティーを飲んでます。生姜焼きを作ったときにあまった生姜は全部これになります。他にはよく「ゆず茶が良い」とか聞きますよね。他の国ではどうでしょうか？ちょうど今、韓国から来ているインターン生の女の子に尋ねてみました。韓国でもよく「ゆず茶」や「ジンジャーティー」、そして「ごみし茶」を飲むそうです。「ごみし茶？」ってなんでしょう？なんでも済州島に生息している果実で、その実を乾燥させた後、砂糖水につけて出てきたエキスを水で希釈させて飲むものだそうです。インターネットで調べたら「五味子茶(オミジャ茶)」というそうです。「五味子茶」は5つの味(甘味、酸味、苦味、辛味、塩味)を持ち、塩味と酸味の成分は肝臓を、甘味は子宮を、苦味と酸味は肺を強化するといわれているそうです。彼女いわく、「最初は甘く、その後がすっぱく、辛くなり、塩辛くなり、最後に苦くなる。あまり辛さは感じない」とのこと。機会があれば一度飲んでみたいですね。



サポートセンターボランティア I さん

☆平成23年度 賛助会員募集!!☆

(財)熊本市国際交流振興事業団では平成23年度の賛助会員を募集開始しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくと共に、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。会員の方には、事業団の機関誌『ニュースレターくまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、フェアトレードスチュアデントカフェ「はちどり」様よりフェアトレードコーヒー割引特典、Denkikan様のご協力により映画鑑賞料金の割引特典や当事業団主催講座の受講料会員割引特典もあります。

- ①個人会員 一口 2,000円/年(一口以上)
- ②団体会員 一口 10,000円/年(一口以上)

平成24年3月までの会員期間となります。

<入会のお申し込み・お問い合わせ>

(財)熊本市国際交流振興事業団事務局  
〒860-0806 熊本市花畑町4-8 熊本市国際交流会館  
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783  
E-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

継続・新規加入ありがとうございました(平成23年2月10日現在)(団体)50音順(敬称略)

- |                 |           |              |               |             |                  |
|-----------------|-----------|--------------|---------------|-------------|------------------|
| 阿蘇ハイランド開発(株)    | 学校法人 鎮西学園 | (株)JTBC 熊本支店 | 熊本学園大学・経理課    | 国立大学法人 熊本大学 | 西日本電信電話株式会社 熊本支店 |
| 医療法人社団 愛育会 福田病院 | (株)県民百貨店  | (株)ニュースカイホテル | 熊本交通センターホテル   | (財)熊本市駐車場公社 | (有)ビジネスマン新熊本ホテル  |
| 学校法人 君が淵学園      | (株)コスギ不動産 | (株)北翔工業      | 熊本市地域婦人会連絡協議会 | 全国ものづくり塾    |                  |
| 崇城大学            | (株)サンカラ   | 九州農水株式会社     | 熊本日米協会        | 大功宅建        |                  |



- 阿蘇くまもと空港より 車で45分
- 熊本交通センターより 徒歩3分
- 熊本市電より熊本城前下車 徒歩3分

from Aso-Kumamoto Airport-45minutes by car  
from Kotsu Center-3minutes walk  
from "Kumamoto jou mae" tram stop-3minutes walk

熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター

開館時間 平日 午前9時~午後8時  
土、日、祝日、午前9時~午後7時  
多文化共生オフィス(午前11時~午後6時) 096-359-4995(直通)  
休館日 第2・第4月曜日、年末年始(12月29日~1月3日)  
Civic Support Center for International Exchange and Cooperation  
Kumamoto City International Center  
Service Hours: Monday to Friday 9:00 a.m.-8:00 p.m.  
Saturday, Sunday, National Holidays 9:00 a.m.-7:00 p.m.  
Multicultural affairs office(11:00a.m.-6:00p.m.) 096-359-4995(Dial-in)  
Closed: 2nd and 4th Mondays of each month, Dec.29th~Jan3rd